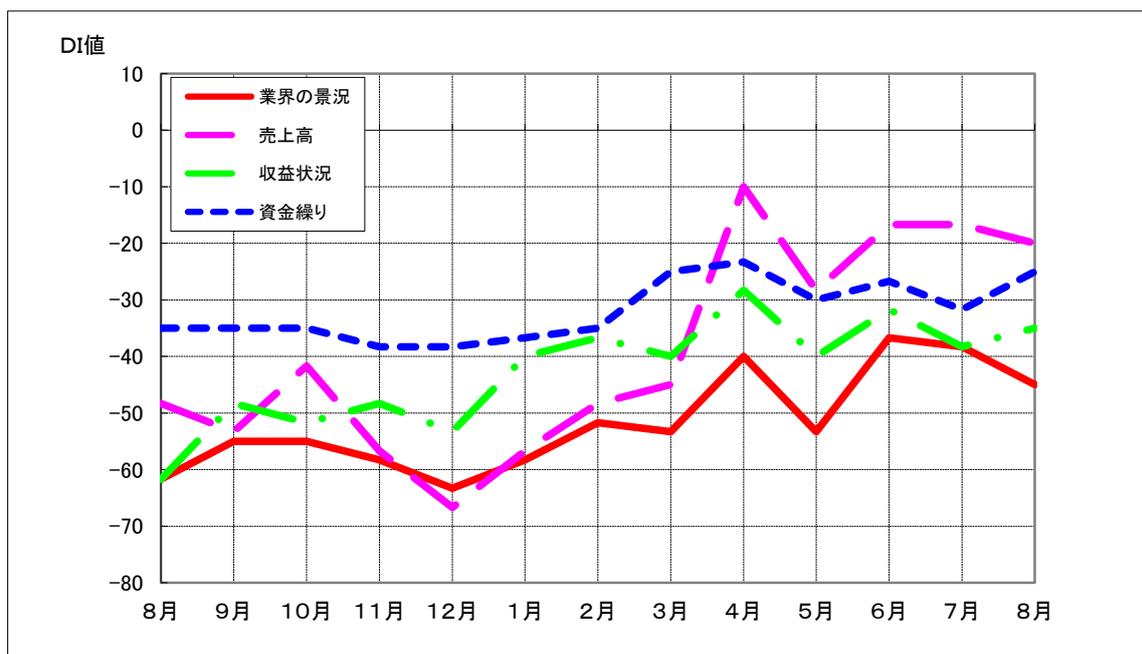


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和2年8月～令和3年8月

単位:ポイント



	R2					R3							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
業界の景況	-61.7	-55.0	-55.0	-58.3	-63.3	-58.3	-51.7	-53.3	-40.0	-53.3	-36.7	-38.3	-45.0
売上高	-48.3	-53.3	-41.7	-56.7	-66.7	-56.7	-48.3	-45.0	-10.0	-28.3	-16.7	-16.7	-20.0
収益状況	-61.7	-48.3	-51.7	-48.3	-53.3	-40.0	-36.7	-40.0	-28.3	-40.0	-31.7	-38.3	-35.0
資金繰り	-35.0	-35.0	-35.0	-38.3	-38.3	-36.7	-35.0	-25.0	-23.3	-30.0	-26.7	-31.7	-25.0

8月のDI値は前月と比べ、2項目改善、2項目悪化であった。「資金繰り」DI値は6.7ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイントそれぞれ改善し、「業界の景況」DI値は6.7ポイント、「売上高」DI値は3.3ポイントそれぞれ悪化した。

前年同月比においては6ヶ月連続で全項目改善し、「売上高」DI値は28.3ポイント、「収益状況」DI値は26.7ポイント、「業界の景況」DI値は16.7ポイント、「資金繰り」DI値は10.0ポイントそれぞれ改善となった。

連絡員からは、業界を問わず新型コロナウイルスの影響が報告されている。製造業では前月に引続いて原料及び資材の値上げの動きが止まらないとの報告が寄せられた。非製造業においては感染者増加に伴い該当市町村に時短要請とその延長が行われ、飲食店だけではなく、小売業、商店街、サービス業、運輸業等の幅広い業界で需要が減少し、大幅な売上減少につながっている。

新型コロナウイルス・デルタ株の蔓延により、多くの業界において経営はより一層厳しさを増してきている。昨年は持続化給付金等の支援を受けなんとか資金をやりくりしていたが、コロナ禍の状況は改善せず、今期は廃業に追い込まれる事業者もいる。また、今月以降の仕事受注の見通しが立たないなど、今後の資金繰り悪化を懸念する意見が多くあり、借入条件の緩和及び支援金の拡大、減税対策等の支援が要望としてあがっている。

組合からの特記事項としては、製造業では、加工食品やハウスウェア雑貨等の一般消費者向けの需要は一部回復しているが、業務用品については依然として需要が低い状態である。非製造業では時短要請や更なる感染者の増加はこれまで新型コロナウイルスの影響に耐えてきた事業者にとって、モチベーションの低下等の精神的なダメージを及ぼしている。